

## 美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
乳幼児からの生活習慣(早ね早おき朝ごはん歯みがき)に対する意識向上事業		美原保健センター			
事業目的	事業効果	活動指標	H29	H30	R1
乳幼児期の生活習慣が確立する時期に、保護者への啓発を重点的に行い、意識を高めることで、美原区の子どもたちが望ましい生活習慣を獲得し、将来の生活習慣病を予防することを目的とする。	乳幼児健診や育児サークル参加時に、生活習慣に関する知識を啓発することで、生活リズムを見直す機会を作り、保護者の生活習慣への意識が向上する。	冊子の作成・配布数	/	/	作成数 1000冊
		むし歯予防の啓発人数 (位相差顕微鏡を使用した啓発)	/	/	466人
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 2019年3月策定堺市歯科口腔保健推進計画(第2次)に於いても生涯を通じた健康づくりの中で、乳幼児期は口腔機能の育成やむし歯予防につながる規則正しい生活習慣を身につけることが大切だと位置づけられている。	○ 保護者に乳幼児期のむし歯と生活習慣との関連について理解してもらい、そのうえで仕上げ磨き・日常の口腔のセルフチェック・定期的な歯科受診(フッ素塗布)など、保護者が主体的に健康的な生活習慣づくりを行うことができるよう支援する。	○ 美原区のH30年度の3歳児健診時う蝕罹患率は11.3%であり、目標値の10.0%以下をめざした啓発が求められる中、狭山美原歯科医師会と協力し、健康のつどいや小学校で位相差顕微鏡を使用し視覚的に訴えながら健康教育を実施することができた。	△	本事業は保健センターの乳幼児健診等の機会を利用することで、効率的に幼児期の全数にアプローチすることができた。ただし、今年度は事業初年度で、保護者にもわかりやすい冊子の作成に期間を要したうえ、新型コロナウイルス感染症の影響により乳幼児健診が一部中止にもなったことから、冊子を用いた啓発は行えなかった。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 乳幼児期には規則正しい生活習慣を身につけ、学童期以降は自分自身で考えて意思決定し、自立した生活習慣を身につけるための学習の機会を増やしていくことは、生涯を通じた健康づくりに役立てることができる。次年度以降は冊子の配布と健康教育の機会を増やしたい。	△ 保健センターが関わることができるライフステージの入り口となる妊産婦期から乳幼児期を中心に、生活習慣病であるむし歯の予防に関する知識を普及するとともに、位相差顕微鏡を用いて歯垢中の細菌を実際に観察させることで、さらなる歯みがきの重要性を啓発し、保護者の口腔への関心、健康意識を高めることができた。また、睡眠、食事を始めとした生活習慣全般を見直すきっかけとなった。なお、配布予定の冊子については、来年度以降の乳幼児を対象とした啓発に活用していく。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 12px; font-weight: bold;">拡充</span>  <span style="font-size: 10px; font-weight: normal;">継続</span>  <span style="font-size: 12px; font-weight: bold;">見直し</span>  <span style="font-size: 10px; font-weight: normal;">廃止</span> </div>	妊産婦から乳幼児期の保護者を対象とし、美原区の子どもたちが望ましい生活習慣を獲得できるように健康教育や保健指導を進めてきた。また、保健センターでは学童期以降に自立した生活習慣を身につけるための学習の機会を確保することが困難なため、学校の協力を得て今回作成した冊子の配布を検討するなど今後もあらゆる場面で生活習慣の大切さを伝えていきたいと考えている。				